



オリダット・あるところで



黄金のシーター



サーカス

通常上映

アラヴィンダン監督特集

インド映画の名匠アラヴィンダン監督特集

通常上映

8月1日(土)から開催しています。

インド映画特集

図書館収蔵のインド映画の上映



マナサワールのお

新型コロナウイルス感染防止のため
下記へのご理解をお願いします。

- 座席数を削減しています。
- 入場にはマスクの着用が必要です。
- 咳エチケットにご協力ください。
- 鑑賞券はトレイにおいてください。
- 職員はマスク・手袋を着用します。

通常上映

インド映画特集

図書館収蔵のインド映画の上映

会期：9月2日(水)～9月8日(火) ※休館日を除く

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※1日1回上映。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)

「インド映画特集」は8月1日(土)から開催しています。

※8月の上映スケジュールはシネラニュース8-9月号をご覧ください。

9/2(水) 14:00 9/4(金) 14:00

へだたり At a Distance

作家のニールは妹のローズの物語を書くために過去を回想する。母親は裕福な家庭に育ち子供に西洋風の教育を施す。しかし妹のローズは足に障がいがあり家に閉じこもりがちだった。アメリカの劇作家テネシー・ウィリアムズの「ガラスの動物園」を翻案した映画。舞台は70年代のインド・ケーララ州の港町。出口のない現実のなかで崩壊する家族の物語が繊細な映像で描かれる。



監督：シャーマブラサード

出演：ブイトヴィラージ

ギートゥ・モハーन्दース

2004年/35ミリ/カラー/92分/インド

日本語・英語字幕付き

通常
上映

アラヴィンダン監督特集

インド映画の名匠アラヴィンダン監督特集

会期：9月10日(木)～9月27日(日) ※休館日・休映日除く

観覧料：500円(大人) 400円(大学生・高校生) 300円(中学生・小学生)

※1日1回上映。

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。(チケットの販売は上映の1時間前からです。)

※障がい者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は250円。(手帳や保険証などの提示が必要です。)

※「わたすクラブ」会員の方は250円。(会員証の提示が必要です。)



ゴスタップン



魔法使いのおじいさん

9/10(木) 14:00 9/19(土) 14:00

黄金のシーター Golden Sita

インド長編叙事詩「ラーマヤナ」の後日譚を描いた映画。魔王にさらわれた妻のシーターを、王のラーマは救い出す。しかし民衆はシーターの純潔を疑い、やむなくラーマはシーターを追放する。シーターは双子の子どもを産んでガンジス河に身を投げる。双子は成長し、偶然ラーマ王と対面する。インドの人にとっては良く知られた物語であるため、物語が多少わかりにくい。それでも森や木々に霊的なものを感じさせるのはアラヴィンダン映画に共通のものである。



監督：G・アラヴィンダン

出演：ラムダース

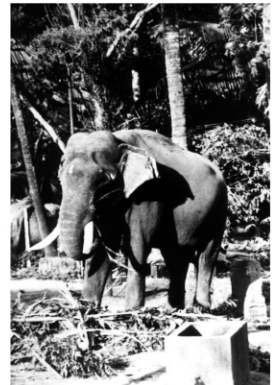
ヴェンカテシュワル

1977年/35ミリ/カラー/87分/インド

日本語字幕付き

子象ちゃん The Catch/Naming Ceremony

インドで神聖な存在であり労働力としてもかかせない象の捕獲と命名の儀式を記録した作品。南インド・ケーララ州での伝統的な象の捕獲方法が記録された貴重な資料である。



監督：G・アラヴィンダン

1984-85,91年/35ミリ/カラー/38分

インド/日本語字幕付き

9/12(土) 14:00 9/21(月・祝) 14:00

魔法使いのおじいさん The Bogey-Man

田舎の村にお面を売って歩くおじいさんがやってくる。おじいさんは魔法使いと言われているが、子どもたちは気にせずおじいさんと一緒に遊ぶ。そしてお別れの日、おじいさんは子どもたちをしばらく動物に変身させ、もとに戻してあげた。ところが一人だけ犬に変身した子どもが、おじいさんから離れたために魔法がとけなかった。そしておじいさんは気づかずに村から去ってしまう。

この映画の出演者は主役のおじいさんを演じるラームニがプロの舞踏家である以外はすべて素人である。登場する子どもたちも村の子どもたちが出演しており、自然で楽しい演技を披露してくれる。一種のおとぎ話のような物語で、見る者を美しい世界へと誘うアラヴィンダン監督の代表作で、アジア映画の傑作の一本である。



監督：G・アラヴィンダン

出演：ラームニ アショーカン

1979年/35ミリ/カラー/89分/インド/日本語字幕付き

9/3(木) 14:00 9/5(土) 14:00

マナサロワールの愛 *Manasarovar*

経営コンサルタントのジョージは、出版社の会社再建プラン作成を依頼される。人員削減を提案するジョージに、女性副社長のマラティーは反対する。「マナサロワール」とは、チベット・カイラス山の麓にある湖の名前で、ヒンドゥー教徒にとっては神聖な場所。監督はアメリカでコンピューターを学んでおり、本作が初監督。低予算の作品だが高く評価された。



監督: アヌーブ・クリアン
出演: アトゥール・クルカルニー
ネーハー・ドゥベイ
2004年/35ミリ/カラー/94分/インド
日本語・英語字幕付き

9/6(日) 14:00 9/8(火) 14:00

シャドー・キル *Shadow Kill*

1940年代のインド南部。死刑執行人のカーリヤッパンは、最後に処刑した者が実は無罪だったのではという疑問を持っていた。罪の意識を感じていた時、王様から死刑執行の命令がくる。この当時死刑執行人は王様から身分を保証され、税金などが免除されていた。死をもたらし、同時に神に近い存在とされたのだ。神聖な存在とされた死刑執行人の苦悩を描いた作品。



監督: アドゥール・ゴーパーラクリシュナン
出演: オドゥヴィル・ウンニクリシュナン
スクマーリ
2002年/35ミリ/カラー/90分/インド
日本語・英語字幕付き

9/11(金) 14:00 9/20(日) 14:00

サーカス *The Circus Tent*

サーカスの一座がケーララ州の田舎の村にやって来る。役所に手続きをしてテントを立て、宣伝のために村を練り歩く。映画はサーカスが始まる準備を丹念に描く。またサーカスの出し物と喜ぶ観客の様子が生き生きと描かれる。もともとドキュメンタリーとして企画された作品で、最終的には簡単な物語をもつドキュメンタリー的の作品となった。そのため随所にドキュメンタリーの要素が見られる。出し物自体はびっくりするものではないが、喜ぶ観客の姿は本物である。



監督: G・アラヴィンダン 出演: ゴービ ヴェヌ 1978年/35ミリ/モノクロ/130分/インド/日本語字幕付き

9/13(日) 14:00 9/22(火・祝) 14:00

エスタッパン *Stephen*

エスタッパンは中年の男。彼は村のいたるところにキリストやマリアの絵を描く。人に泥棒の罪を着せられても何の弁明もしない。子どもの病気を治したこともあるが、病気を治すことに失敗して自殺しようとしたこともある。彼は愚か者にみえるが聖人のようにも見えるのだった。あるキリスト教徒の男の話である。「聖なる愚者」を描いた作品だが、監督は奇跡や魔法も日常の普通の事として描いている。



監督: G・アラヴィンダン
出演: ラージャン・カッカナーダン
クリシュナプラム・リーラー
1979-1980年/35ミリ/カラー/94分
インド/日本語字幕付き

9/16(水) 14:00 9/25(金) 14:00

黄昏 *Twilight*

青年パーラチャンドランは感受性の強い詩人である。彼はどう生きていくか方向をつかめないでいた。恋人が都会に去り、父親は政治活動で死亡する。彼は一人瞑想にふけるうちに幻覚を見るようになる。監督は本作の映画化に際し5年間構想を練ったという。多くのシーンは夕方に撮影されており、映画の基調となっている。ワンシーンが長くテンポも遅いが、それは主人公の内面描写のためである。



監督: G・アラヴィンダン
出演: パーラチャンドラン
カルバナ
1981年/35ミリ/カラー/108分/インド
日本語字幕付き

9/17(木) 14:00 9/26(土) 14:00

オリダット・あるところで *Once, Somewhere*

1952年から56年頃のケーララ州の村が舞台。村に初めて電気が引かれ、村の未来は明るいとしゃぐ人々。都会から来た技師が村の女性を誘惑したり、医者が引っ越してきたりと村で起きる様々なドラマが描かれる。ある時代の村のスケッチといった雰囲気のある作品で、アラヴィンダン監督の若いころの記憶と重なっている可能性がある。当時のインドの村の様子がよくわかる作品である。

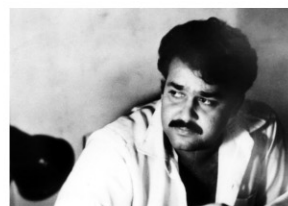


監督: G・アラヴィンダン
出演: ネドゥムディ・ヴェーヌ
ティラカン
1986年/35ミリ/カラー/113分/インド
日本語字幕付き

9/18(金) 14:00 9/27(日) 14:00

追われた人々 *The Dispossessed*

ヴェスはカルカッタの役人で、東ベンガルからの難民を入植させるため毎日面接を行っていた。ある日彼はアルティという女性と出会う。彼女は未亡人で、夫が革命家であったため故郷を離れてカルカッタで暮らしていた。ケーララ州は多くの共産主義者を生んだ土地であり、その活動の挫折により故郷を離れた人々を、インド・パキスタンの分離により難民となった人々と重ねるように描いた作品。ヴェスを演じるモーハンラールは、ケーララ州映画界の大スターである。



監督: G・アラヴィンダン
出演: モーハンラール
ニランシュナー・ミトラ
1990年/35ミリ/カラー/101分/インド
日本語字幕付き



1火	休館日
2水	14:00 へだたり
3木	14:00 マナサロワールの愛
4金	14:00 へだたり
5土	14:00 マナサロワールの愛
6日	14:00 シャドー・キル
7月	休館日
8火	14:00 シャドー・キル
9水	休映日
10木	14:00 黄金のシーター／子象ちゃん
11金	14:00 サーカス
12土	14:00 魔法使いのおじいさん
13日	14:00 エスタッパン
14月	休館日
15火	休映日
16水	14:00 黄昏
17木	14:00 オリダット・あるところで
18金	14:00 追われた人々
19土	14:00 黄金のシーター／子象ちゃん
20日	14:00 サーカス
21月祝	14:00 魔法使いのおじいさん
22火祝	14:00 エスタッパン
23水	休館日
24木	休映日
25金	14:00 黄昏
26土	14:00 オリダット・あるところで
27日	14:00 追われた人々
28月	休館日
29火	休映日
30水	休館日

1933年、南インドのケーララ州に生まれる。漫画家、エッセイストとして活躍し、1974年から映画製作を始める。1991年までに12本の劇映画と、多数のドキュメンタリー映画を製作。1991年3月心臓病で死去する。日本では監督の代表作である「魔法使いのおじいさん」(79年)や「チダンバラム」(85年)などが、映画祭の中で上映され、多くのファンを獲得する。91年の第1回アジアフォーカス・福岡映画祭ではアラヴィンダン監督追悼として、7作品がまとめて上映された。

インド映画では、サタジット・レイが巨匠として知られているが、アラヴィンダンもサタジット・レイに比肩する巨匠として知られている。その作風は平易でありながら、無垢でやさしいまなざしを感じさせる。「ただ一途、善意の人々の澄み切った心の輝きを追及して止まない瞑想的で詩人的な映像作家」(佐藤忠男)と評されている。

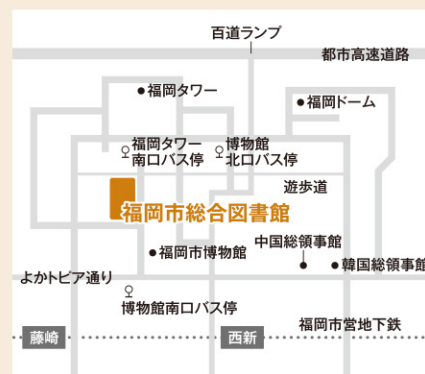


福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館(代表):tel.092-852-0600 fax.092-852-0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【市営地下鉄】
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

【西鉄バス】

●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分

●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については西鉄お客様センター(tel.0570-00-1010)に直接お問い合わせください。